

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 28 年 6 月 9 日 (2016.6.9)

【公開番号】特開 2014-218002 (P2014-218002A)
 【公開日】平成 26 年 11 月 20 日 (2014.11.20)
 【年通号数】公開・登録公報 2014-064
 【出願番号】特願 2013-97998 (P2013-97998)
 【国際特許分類】

B 4 1 J 2/05 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 3 B

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 28 年 4 月 18 日 (2016.4.18)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】請求項 1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項 1】

多層基板の第 1 層に複数の電気熱変換素子を配列し、前記複数の電気熱変換素子の配列される位置に対応して前記多層基板の第 2 層に前記複数の電気熱変換素子の温度を検知する複数の温度検知素子を配列した構成の素子基板と前記素子基板の上にオリフィスプレートとを備える記録ヘッドであって、

前記オリフィスプレートに前記複数の電気熱変換素子それぞれに対応して予め定められた間隔で形成され、前記複数の電気熱変換素子を駆動することで発生する熱によりインクを吐出する複数のノズルと、

前記素子基板に形成される、前記複数のノズルそれぞれにインクを供給するインク供給口とを有し、

前記複数の温度検知素子の少なくとも一部を直列に接続して温度検知素子列を構成し、

前記温度検知素子列の一端が定電流を給電する第 1 の配線に接続され、前記温度検知素子列の他端が第 2 の配線に接続されることを特徴とする記録ヘッド。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】請求項 2
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項 2】

前記インク供給口は、

前記複数のノズルそれぞれに個別的にインクを供給する複数の独立インク供給口と、

前記複数の独立インク供給口が連通する共通インク供給口とを有し、

前記オリフィスプレートと前記素子基板との間にあって前記複数の独立インク供給口どうしは連通し、前記連通した部分が前記素子基板の上で梁部を形成し、

前記複数の電気熱変換素子と前記複数の温度検知素子は前記梁部に配置されることを特徴とする請求項 1 に記載の記録ヘッド。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 0

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

即ち、多層基板の第 1 層に複数の電気熱変換素子を配列し、前記複数の電気熱変換素子の配列される位置に対応して前記多層基板の第 2 層に前記複数の電気熱変換素子の温度を検知する複数の温度検知素子を配列した構成の素子基板と前記素子基板の上にオリフィスプレートとを備える記録ヘッドであって、前記オリフィスプレートに前記複数の電気熱変換素子それぞれに対応して予め定められた間隔で形成され、前記複数の電気熱変換素子を駆動することで発生する熱によりインクを吐出する複数のノズルと、前記素子基板に形成される、前記複数のノズルそれぞれにインクを供給するインク供給口とを有し、前記複数の温度検知素子の少なくとも一部を直列に接続して温度検知素子列を構成し、前記温度検知素子列の一端が定電流を給電する第 1 の配線に接続され、前記温度検知素子列の他端が第 2 の配線に接続されることを特徴とする。